

特色
2

文法を自然に使うって発信できる
場面・状況設定

各課の例文や文法問題はすべてトピックの内容に関連。
学習した文法を無理なく活動につなげられる仕組みで、
スムーズに授業を進めていただけます。

Clear
I

各レッスンの文法項目とトピックリスト

4つのZoneで身近なことから社会・文化的トピックへ展開

- 1st Zone ▶ 自分のことや身近な人のことを話す
- 2nd Zone ▶ 日々の生活について話す
- 3rd Zone ▶ したいことやしていることを話す
- 4th Zone ▶ 説明する・自分の考えを話す

Zone	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間	
	Introduction		5文型と品詞		1	
1	1	現在形	自分のこと	Meeting People	2	
	2	過去形	休日・週末にしたこと	Holidays and Weekends	2	
	3	未来の表現	予定	Making Plans	2	
	4	現在完了形	経験	Experiences	2	
	5	過去完了形	学習・課外活動	Study and Activities	2	
	Logical Writing ①		叙述文を書いてみよう!(高校入学前の出来事)			1
	1st Zone まとめの活動		スピーチをしてみよう!(高校入学前の出来事)			1
2	6	助動詞①	食べ物	Food	2	
	7	助動詞②	学校生活	School Life	2	
	8	助動詞③	日常生活	Daily Life	2	
	9	受動態	建物や交通	Buildings and Transportation	2	
	Logical Writing ②		意見文を書いてみよう!(学校に規則は必要か)			1
	2nd Zone まとめの活動		Logical Thinking 論理的に考える			1

3	10	不定詞①	将来	The Future	2
	11	不定詞②	健康	Staying Healthy	2
	12	不定詞③	電化製品	Electrical Appliances	2
	13	動名詞	趣味・興味	Hobbies and Interests	2
	14	分詞①	自然	The World of Nature	2
	15	分詞②	トラブル・問題	Trouble and Difficulties	2
	Logical Writing ③		説明文を書いてみよう!(絶滅危惧種の動物)		
3rd Zone まとめの活動		プレゼンテーションをしてみよう!(絶滅危惧種の動物)			1
4	16	関係代名詞①	発明・発見	Inventions and Discovery	2
	17	関係代名詞②	職業・社会活動	Career and Social Service	2
	18	関係副詞	行事・慣習	Events and Customs	2
	19	比較①	生活環境	Living Environment	2
	20	比較②	社会問題	Social Problems	2
	21	仮定法	願い事	Making a Wish	2
	Logical Writing ④		問題解決文を書いてみよう(日本の労働者不足)		
4th Zone まとめの活動		ディスカッションをしてみよう!(都会の暮らしと地方の暮らし)			1
Plus	Logical Writing ⑤		説得文を書いてみよう!(学校でのスマートフォン使用)		1
	まとめの活動		ディベートをしてみよう!(学校でのスマートフォン使用)		2
					計 54

特色① 構成・使い方

特色② Iの構成

特色③ 生徒用教材

特色
2

Clear I で学習した文法を，再確認。 着実に発信する力へつなげる

Clear I で学習した個々の文法事項を再確認し，文の中でどう使うのかに焦点を当てます。理解した知識を活用し，書く力・話す力を伸ばします。さまざまなトピックを通して，自分の考えを伝える力を養います。

Clear II

各レッスンの文法項目とトピックリスト

日常や社会の問題について，考えるきっかけとなるトピック

- 1st Zone ▶ 興味，交流，学校生活について伝える
- 2nd Zone ▶ 社会と私たちの暮らしについて考える
- 3rd Zone ▶ 「こころ」のはたらきについて考える
- 4th Zone ▶ 世界の国々の比較，日本の社会について考える
- 5th Zone ▶ 持続的で住みやすい世界について考える

LESSON	文法項目	タイトル	TARGET	配当時間
Introduction		論理的に発信するためのウォームアップ		1
1st Zone：動詞・名詞の使い方		Talking about Daily Life		
1	時制	Your Interests	時系列にそって話す	2
2	不定詞（名詞用法）／動名詞／名詞節	Interacting with People	情報を伝える	2
3	助動詞／助動詞 + have + 過去分詞	Explaining School Life	手順を示す	2
1st Zone まとめの活動		スクリプトを書いてみよう！		1
Extra Activities①		話の展開を考えて叙述文を書こう！		1
2nd Zone：形容詞の使い方		Interacting with Society		
4	形容詞／分詞	Media Literacy	具体例を示す	2
5	名詞の後置修飾	Helping Others	紹介する	2
6	関係代名詞／関係副詞	Introducing Your Town	具体的に伝える	2
2nd Zone まとめの活動		スピーチをしてみよう！		1
Extra Activities②		論理的に文をつないで説得力のある文章を書こう！		1
3rd Zone：副詞の使い方		Cultivating the Mind		
7	副詞	Learning Languages	調べたことを発表する	2
8	不定詞（副詞用法）／分詞構文	Appreciating Art	描写する	2
9	副詞節	Happiness and Stress	エピソードを話す	2
3rd Zone まとめの活動		プレゼンをしてみよう！		1
Extra Activities③		グラフの説明をしよう！		1

Clear I：文法の基礎固め→Clear II：文法の活用と定着

be Clear I

- 参考書の順に対応した文法配列
- 教科書例文と参考書例文が連動
- 文法の基礎を習得し土台を築く

be Clear II

- 文の組み立て方がわかる文法配列
- I を効果的に復習し知識を定着
- 学んだ文法を使って発信する力へ

4th Zone：比較と仮定の表現		Globalization and Identity		
10	原級・比較級・最上級	Comparing Countries	比較する	2
11	仮定法過去／仮定法過去完了	Innovation and Imagination	仮定の話をする	2
12	that節／時制の一致／話法	Introducing Japan	考えを伝える	2
4th Zone まとめの活動		ディベートをしてみよう！		1
Extra Activities④		文章や発言の要約をしよう！		1
5th Zone：英語らしい表現		Toward a Sustainable Society		
13	存在や変化を表す	Population Issues	意見を述べる	2
14	使役動詞／知覚動詞	Diversity and Inclusion	提案する	2
15	無生物主語／英語らしい表現	Sustainability in Action	展望を述べる	2
5th Zone まとめの活動		ディスカッションをしてみよう！		1
Extra Activities⑤		調査・分析をして文章にまとめ，発表しよう！		1
Plus Zone				
パラグラフ・ライティング		①英語のパラグラフの書き方		1
		①意見を述べるパラグラフ		1
		②描写・説明するパラグラフ		1
		③比較・対照するパラグラフ		1
		④因果関係を説明するパラグラフ		1
		⑤問題解決を述べるパラグラフ		1
		計	47	



授業展開例

Clear I・II共通

授業の方針や学習者の習熟度に合わせて、文法主軸/活動主軸、または文法と活動を組み合わせて、多様な授業展開が可能です。

授業2コマ/1レッスンのペースを想定した場合

	文法&活動 バランス型	文法主軸型	活動主軸型
導入 (1ページ目) モデル会話・英文	モデル会話・英文を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 教科書 Listening-TASK ↓ 発音解説	モデル会話・英文を聞く ↓ 会話の内容を確認 教科書 Listening-TASK	モデル会話・英文を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 教科書 Listening-TASK ↓ 発音解説
	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 文法演習 教科書 CHECK	基本例文確認 ↓ 文法解説 ●文法参考書 ●Grammar Book ●補助プリント ↓ 文法演習 教科書 CHECK	基本例文確認 ↓ 文法演習 教科書 CHECK ↓ 言語活動 教科書 TASK
定着 (2-3ページ目) 文法解説 例文, F-GUIDE 確認問題 CHECK 言語活動 TASK	言語活動 教科書 TASK ↓ 【宿題】 ●Grammar Book ●Workbook 授業では、教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い、宿題の準拠教材で補強する	言語活動 教科書 TASK ↓ 【宿題】 ●Grammar Book ●補助プリント ↓ 余裕があれば活動 教科書 TASK 活動は1つ選んで行う ↓ 【宿題】 ●Grammar Book ●Workbook	【宿題】 ●Grammar Book ●Workbook 文法解説・演習は準拠教材に任せ、言語活動に時間を割く
	発展 (4ページ目) 話す活動 SHARE 書く活動 WRITE	話す活動を行う 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ↓ 書く活動を行う 教科書 WRITE	話す活動を行う 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ ↓ 書く活動を行う 教科書 WRITE パラグラフライティング

1コマ目

2コマ目

Clear I 教科書紙面紹介

LESSON 1 Start-Up (導入)

ターゲットの文法項目が実際にどのように使われるのか、モデル会話で確認できます。

LESSON 1

Meeting People

QR

1 1

自分のことを話す

Start-Up 学校の近くで、登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!
Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?
Mike: No. **I live far from here, so I usually take the train.** It takes about an hour.
Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I walk to school. It only takes ten minutes.
Mike: **Oh, really!** You're lucky! I don't like the long train ride.



Listening-TASK True or False? 1. T/F 2. T/F 3. T/F

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えるときに、もう1つ情報を加えて返しましょう。会話にリスニングが生まれ、その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。

Forms 現在のことは現在形で表す
 現在のことを伝えるときには、**動詞の現在形**を使います。現在形を使うと、「住んでいる」のような状態や、「電車に乗る」など、**ふだん繰り返し行うことを表す**ことができます。
 I **live** far from here.
 I **take** the train.
 このような文の動詞の現在形が表すのは、「今」を中心として、過去から現在、そして未来へと広い範囲です。Do you walk to school?であれば、今現在だけのことではなく、「いつも徒歩通学」とたずねているのです。

Expressions あいづちで関心を示す
Oh, really!のようなあいづちを打つことで、「そうなんだ!」と相手の話に関心をもっていることを表すことができます。**Really?**なら「そうなの?」というニュアンスです。**I see.**「なるほど」と言って、理解することもできます。

Sounds /l/と/r/の発音
 /l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。
 live, lucky, long, usually, school / really, ride, from, train, friend
 light/right, lead/read, glass/grass, collect/correct

Talk
 会話の内容を確認し、MikeとShotaになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up 「学校には電車です」と言うとき、交通手段を表すbyを使ったI come to school by train.でも通じますが、**I take the train** (to school).とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike[bicycle].という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

各レッスンでトピックを設定

- モデル会話
- 基本例文
- 文法演習
- 活動
- 語彙

↑
トピックで統一

リスニング問題例

LESSON1
True or False

1. Shota walks to school.
2. Mike takes about an hour-long train ride to school.
3. Mike doesn't like to walk.

1. T 2. T 3. F

授業の流れ

- 1 **Start-Up** で文法の使われる状況・場面を確認。
- 2 **Listening-TASK** で会話の内容確認。
- 3 **Forms** や **Expressions** で、文法や表現への理解を深める。

特色① 構成・使い方

特色② I教科書紙面

特色③ 生徒用教材

文法と活動をバランスよく授業で扱うことができる構成です。文法学習→演習(CHECK)が
終わったら、「学んだことをその場で使ってみる」活動(TASK)を通して文法の定着を図ります。

Interactions 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在のことを表す

現在形

- I **have** a cat and **love** him so much.
- I **usually get** to school at 8:30.
- My mother **teaches** biology at a high school.

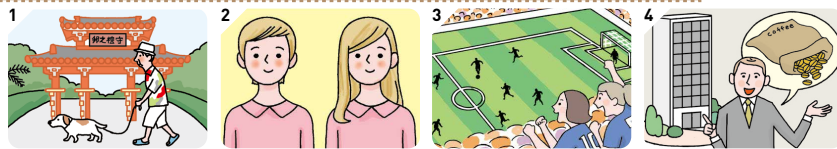
F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。

- 「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
- 繰り返すことや習慣になっていることを表すとき。
- 職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.)。

CHECK [] から選んだ語を適切な形にして、現在のことを表す英文を完成させよう。

[walk / look / live / have / work / support]

- My grandfather () in Okinawa. He () his dog every day.
- Andy () twin sisters. They () like each other.
- Sara and I are soccer fans. We () the local team.
- My uncle () for a trading company. He imports coffee beans.



CHECK が
TASK の解答例

1

2

3

Input

文法の確認

- 6つの基本例文
- 簡潔な文法解説 (F-GUIDE)
- 文法確認 (CHECK)

4

Output

文法の定着

- コンパクトな活動 (TASK) で「学んだらすぐに使ってみる」

文法を自然に使える場面・状況設定

TASK をサポート

Vocabulary

- be good at (～が得意である)
- look like [resemble] (～に似ている)
- be a graduate of (～の卒業生である)
- work for [in, at] (～で働く)
- leave for school (学校に出かける)
- walk to school (徒歩通学する)
- wait for the bus (バスを待つ)
- belong to (～に所属している)
- walk one's dog (犬の散歩をする)
- brush one's teeth (歯を磨く)
- get dressed (着替える)
- have [eat] breakfast (朝食をとる)
- do club activities (部活動をする)
- go to cram school (塾に行く)
- work part-time (アルバイトをする)
- go shopping (買い物に行く)

多種多様なワークシートで文法学習(Input)も活動(Output)も徹底サポート

pp.42-43

B 途中でであることを表す

現在進行形

- I'm **writing** an essay for my English class.
- I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形 (am / are / is + 動詞の ing 形) を使う。

- 現在している最中のことを表すとき。
- 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.) を表すとき。

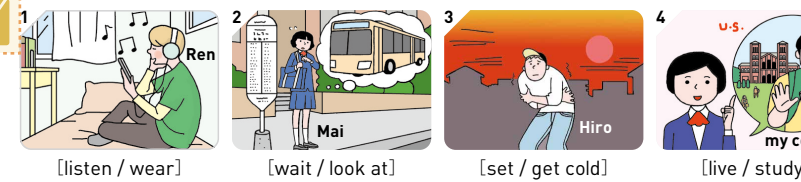
CHECK [] から選んだ語を適切な形にして、英文を完成させよう。

[wear / get / take]

- After a long discussion, they _____ a break now.
- It _____ dark. Let's go home.
- My sister _____ a suit for today's ceremony.

TASK

イラストの状況を想像して説明する文を、語句を参考に書いてみよう。



- Ren **is listening** to music in his room. He **is wearing** headphones.

C しようとしていることを表す

現在進行形

- My grandmother **is visiting** us tomorrow.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形を使ってこれからしようとしていることを表すことができる。

- これからしようとしている個人的な予定を表すとき (「いつするのか」を示す表現を入れる)。

CHECK () に適切な語を入れて英文を完成させよう。

- "What are you () after class?" "I'm () tennis with my sister."
- My mother and I are () shopping this weekend.

TASK

今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。

活動 (TASK) のアイコン

アイコンを大きく見やすく配置。TASK でどの活動ができるか一目瞭然。

- やり取り
- 発表
- 書く
- 協同学習

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在のことを表すことができる。
- B 途中でであることを表すことができる。
- C これからの予定を表すことができる。

◀ SHARE と ✎ WRITE で、各レッスンの総仕上げをすることができます。

Active Learning Meeting People

Speakingの Goal

やり取りの例で
取り組みやすく

①の例を使ってペア
またはグループで
やり取り。
②メモを元に発表。

◀ SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

① クラスメイトにインタビューして、集めた情報をメモしよう。

例

- How do you come to school?
- What do you do in your free time?
- What is your favorite sport [food/subject]?

name	He/She _____
train / bus / bike / walk	He/She _____
free time	He/She _____ in his/her free time.
favorite thing	His/Her favorite _____ is _____.

② インタビューしたクラスメイトのことをグループで紹介しよう。
聞き手はそれぞれの発表について、感想を言ったり質問したりしよう。

✎ WRITE いつもの行動について書こう

① 自分がいつも朝にしていることを書き出そう。

例

I get up at 6:00. I get dressed. I eat breakfast.
I ride my bike to school. It takes 15 minutes.

② and や first, then, after that などを使って、時間の流れにそって朝の習慣を書いてみよう。

例

I usually get up at 6:00. First, I get dressed, and then I eat breakfast. I sometimes take my dog for a walk. After that, I leave for school at 7:15.

Self-Check ✓

インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。③ ② ①

朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。③ ② ①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

Writingの Goal

ステップを踏んだ
学習が可能

①でアイデアを書き
出し、②で文を組み
立てて、英文を書く。

Logical Thinking

自分のことを伝えるときに、I play the piano. I read many books. のようにばらばらの事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I play the piano. I love classical music. のように、前の文につながるような情報を加えるなど、文と文の関連を意識して、まとまりのある文章にしましょう。

充実のワークシートでサポート

◀ SHARE ワークシート, ✎ WRITE ワークシート

LESSON 10 The Future 将来について話す

Start-Up Yui が気になる話題について、Mike に話しかけています。

Yui: I hear that AI is advancing rapidly. In the future, about half of all jobs might be replaced by AI.

Mike: What! Will humans lose their jobs?

Yui: **Don't worry.** AI can process a large amount of data and do various tasks quickly, but in many jobs, **humans need to think and make big decisions.**

Mike: I see. **I want to be a counselor**, so I think I will be OK. I don't believe AI can understand human emotions.

Yui: Yeah. **It's important to know what AI can and can't do.**

QRコード

QRコードからのアクセスで、音声を聞くことができます。(テキスト表示あり)

- Start-Up
- Sounds
- 基本例文
- E-GUIDE
- Vocabulary

▶ p.48

QR 音声

問題文の音声の流れます。

Listening-TASK

1. T/F 2. T/F 3. T/F

Tips for Better Communication 何か共通の話題となるようなことや、相手が興味をもちそうなことがあれば話しかけてみましょう。I hear ... や I saw it online ... と最近の気になる話題などを取り上げるのもよいでしょう。

Forms 「～すること」を不定詞で表す

不定詞<to+動詞の原形>は名詞のはたらきをして、「～すること」を表すことができます。名詞なので、主語や補語、動詞の目的語になります。<need+不定詞>は「～することが必要だ」、<want+不定詞>は「～したい」を表します。I want to be a counselor. は「私はカウンセラーになりたい」という意味です。It's important to know ... の文では形式主語itが使われ、主語であるto knowは後ろに置かれています。

Expressions 励ます

Don't worry. 「心配しないで」や **Take it easy.** 「無理しないで」は、不安そうな相手を励ますときに使えます。You can do it! や Good luck! は、これから何かをする人への「がんばって」という励ましのことばです。

Sounds 発音しない文字

英語の単語には、half of lのように、発音しない文字(黙字)が含まれているものがあります。次の単語の緑色の文字は発音しないので注意しましょう。

know, knife, honor, write, wrong, half, castle, island, climb, though, high

Talk

会話の内容を確認し、YuiとMikeになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up AIはartificial intelligence「人工知能」の略です。VRはvirtual reality「仮想現実」、IoTはInternet of Things「モノのインターネット」です。気になる英語の略語の意味を調べてみるとよいでしょう。

65

特色① 構成・使い方

特色② I教科書紙面

特色③ 生徒用教材

12

13

QR
音声

QRコードでは、
● 例文①～⑥一覧の
音声・テキスト表示
● フラッシュカードで
「英文→日本語訳」
の再生ができます。

TASK の補助は
ワークシートで

書くためのステップを
示すCHECK・TASK ワーク
シートで、空所補充や
並べかえの問題を解き
ながら解答の書き方が
分かる。

QR
音声

フラッシュカード
では、英語→日本語
の順で画面が変わ
ります。

Interactions 今後のことや将来のことを話す

A 「～すること」を主語や補語にする

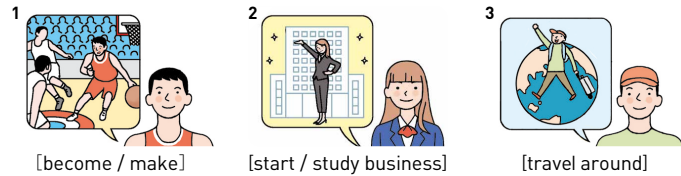
不定詞の名詞用法：主語・補語

- ① It's important **to set** clear goals.
- ② My dream is **to work** for the United Nations.
- ③ It might be a good idea **for him to take** over the family business.

F-GUIDE 不定詞 (to+動詞の原形) は、次のような場合に名詞として使うことができる。

- ① 「～すること」を主語にするとき。ただし、形式主語のitを使うのがふつう。② 「～すること」を補語にするとき。
- ③ 不定詞の意味上の主語を示す必要があるときは、forを使って〈for ... +不定詞〉とする。

CHECK [] の語句を使って、将来の夢について説明している英文を完成させよう。



[become / make]

[start / study business]

[travel around]

1. My dream is _____ a professional basketball player.
It will be hard _____ my dream come true, but I will try hard.
2. My future goal is _____ my own company.
So it's necessary _____ me _____ in college.
3. It might be a great experience for _____.

TASK 1 CHECK を参考に、あなたの将来の夢や目標について書いてみよう。また、その実現に向けて必要なことなども加えてみよう。

TASK 2 ペアになって TASK 1 で書いたことを話してみよう。相手は E-GUIDE の表現を使って励ましたり、質問したりして会話を続けよう。

- 例 A: My dream is **to study** abroad. So it's important **for me to study** English hard.
B: That's wonderful! It might be hard, but I'm sure you can do it!
A: Thank you. I'll do my best! So, how about you? Tell me about your dream.

E-GUIDE 相手を励ましたり、応援したりしよう。

- ・ Good luck! / Go for it! / Hang in there! (がんばって!) ・ You can do it! (きみならできるよ!)
- ・ Think positively! (前向きに!) ・ You'll be fine! (きっと大丈夫!) ・ Take it easy. (無理しないで)
- ・ Don't give up. (あきらめなくて) ・ Believe in yourself. (自分を信じて) ・ Don't worry. (心配しないで)

Vocabulary

- ・ earn a living (生計を立てる)
- ・ study abroad (留学する)
- ・ get a qualification (資格を取る)
- ・ raise money (資金を調達する)
- ・ get a scholarship (奨学金を得る)
- ・ enter university (大学に入る)
- ・ study business (ビジネスを学ぶ)
- ・ get a master's degree (修士号を取る)
- ・ go to space (宇宙に行く)
- ・ develop one's skill (能力をみがく)
- ・ become famous (有名になる)
- ・ application form (申込書, 願書)

B 「～すること」を動詞の目的語にする

不定詞の名詞用法：目的語

- ④ I hope **to study** business in the United States.
- ⑤ I'll try **not to choose** the easy way in life.

F-GUIDE 不定詞は名詞として動詞の目的語になることができる。

- ④ hopeやwantのような、これからすることを述べる動詞の目的語になる。
- ⑤ 形式目的語のitを使うこともある (You'll find it interesting to communicate with various people.)。
- ⑥ 不定詞の意味を否定して「～しないこと」とするときは、〈not/never +不定詞〉とする。

CHECK [] から選んだ語を適切な形にして、英文を完成させよう。 [make / get / study]

1. Bill has decided () () biology at university.
2. Kana wants () () a high school teacher's license.
3. I promise () () () the same mistake again.

TASK

将来について迷っている友人へメッセージを書いています。語句を参考にして英文を完成させよう。最後は自由にアドバイスを書いてみよう。 [be / worry / give up]

What do you want _____ in the future? If you haven't decided yet, you don't need _____ about it. When you find a goal, work toward it. The key to success is _____.

C 「何を・どのようにすべきか」を疑問詞と不定詞で表す

疑問詞+不定詞

- ⑥ I just don't know **what to study** in college.

F-GUIDE 〈疑問詞+不定詞〉は次のように名詞として使うことができる。

- ⑥ 〈疑問詞+不定詞〉を使って、「何をすべきか」を **what to do** のように表す。「どのようにすべきか」は **how to do** で表す (Could you tell me how to apply for scholarships?)。

CHECK () 内の語を並べかえて英文を完成させよう。

1. I haven't decided (to / do / after / what) graduation.
2. I'm not (how / sure / to / AI / use) for my research.
3. Mr. Jones (where / us / showed / get / to) the application form.
4. I'd like to (submit / know / to / when) my assignment.

TASK

あなたはこれからしたいことを考えています。先生に相談や質問することを書いてみよう。 I want to study abroad, but I'm not sure **what to do** first. I'd like to know

さまざまな TASK
で文法を使う

- 空所補充問題で文法事項を確認。
- さまざまな場面や状況の英文を書いて定着につなげる。

QR
音声

音声アイコン

TASK の解答例を音声で提供。一リスニング問題にも活用できます。

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 不定詞を主語や補語として使うことができる。
- B 不定詞を目的語として使うことができる。
- C 疑問詞と不定詞で「～すべきか」を表すことができる。

Active Learning The Future



さまざまなトピックについて考え、話せることを増やす

SHARE 未来について考えよう

① AIがさらに発達すると未来はようになるか考えて、メモしよう。

- ・AIは将来どのようなことに使われると思うか。
- ・AIがさまざまな仕事をする社会になれば、人間にはどのような能力が必要になるか。

学習文法項目を含む解答例

自分の考えをメモしながら整理することができる (SHARE ワークシートでサポート)。

▶ p.43

- 例
- ・ In the future, AI will help people learn **how to drive** a car.
 - ・ AI will give us suggestions about **what to do** in various aspects of our lives.
 - ・ It is important **to use** AI in the right way. For example, we must not use AI for crime.
 - ・ If AI continues to develop,

② ①で書いたことについて、ペアまたはグループで発表しよう。

WRITE 将来してみたいことを書こう

自分が将来したいことについて書いてみよう。AIがさらに発達する可能性も考慮して、どのような能力を身につけたらよいか考えよう。

例 My dream is **to be** a school counselor. I want **to help** students when they have problems at school. I think AI can answer many questions from students, but it cannot understand human feelings. So I want **to learn** to be a counselor and **listen** to students. However, I also hope **to use** AI wisely and **make** the best use of it.

Self-Check
未来を想像し、どんな能力が必要になるかについて話すことができた。③ ② ①
将来してみたいことや、将来必要な能力について書くことができた。③ ② ①

Logical Thinking

英語の文章を書くときは、最も伝えたい情報を主題文 (topic sentence) で最初に述べるのが一般的です。そのあと、理由や具体例などの支持文 (supporting sentences) を続けます。主題文が My dream is to be ... であれば、支持文では「なぜ...になりたいか」「どのようなスキルを身につけたらよいか」などを述べるとよいでしょう。

各Zoneの構成

Clear I・II 共通

本課で学習したこと、活動した内容が、Zone末のまとめの活動で活用できる構成になっています。



本課を学習

Zone末の活動へ

Clear I

各Zone末に、Logical Writing (「書く」活動 ▶ pp.18-19) とまとめの活動 (「やり取り」・「発表」の活動 ▶ pp.20-21) をセットで配置。各レッスンのトピックと関連しているので (▶ pp.4-5)、本課でのコンパクトな活動からハードルの高い活動へ、スムーズに移行できます。

1st Zone	Logical Writing ①	叙述文を書いてみよう! (高校入学前の出来事)
	1st Zone まとめ活動	スピーチをしてみよう! (高校入学前の出来事)
2nd Zone	Logical Writing ②	意見文を書いてみよう! (学校に規則は必要か)
	2nd Zone まとめ活動	Logical Thinking 論理的に考える
3rd Zone	Logical Writing ③	説明文を書いてみよう! (絶滅危惧種の動物)
	3rd Zone まとめ活動	プレゼンテーションをしてみよう! (絶滅危惧種の動物)
4th Zone	Logical Writing ④	問題解決文を書いてみよう (日本の労働者不足)
	4th Zone まとめ活動	ディスカッションをしてみよう! (都会の暮らしと地方の暮らし)
Plus	Logical Writing ⑤	説得文を書いてみよう! (学校でのスマートフォン使用)
	まとめ活動	ディベートをしてみよう! (学校でのスマートフォン使用)

Clear II

各Zone末に、まとめの活動 (「やり取り」「発表」の活動 ▶ pp.32-33) とExtra Activities (「書く」活動 ▶ pp.34-35) をセットで配置。

Zone内の各活動が
トピックと連動

本レッスンの学習や
活動が生かせる。

本課内の
発展学習

Zone末活動①
Logical Writingの
TASK

Zone末活動②
スピーチの TASK
▶ pp.20-21

Logical Writing ①

叙述文を書いてみよう!



叙述文とは

自分が体験した出来事などについて、順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと、旅行で体験したこと、部活動で経験したことなど、思い出に残っていることを文章にします。

1st Zoneでは、自分のことを述べたり、楽しかった出来事について述べたり、休日のことや行ったことがある場所のこと、学習や課外活動について述べたりする活動をしてきました。このLogical Writing ①では、1st Zoneのライティング活動のまとめとして、100～130語の叙述文(Narrative Paragraph)を書いてみることにします。

TASK 思い出に残っている高校入学前の出来事について、100～130語のパラグラフを書こう。

叙述文の書き方

叙述文では、出来事を時間軸にそって順を追って述べていきます。まず、導入としてどんな出来事なのかを示してから出来事の内容を具体的に述べ、最後に感想などでまとめる、というのが叙述文の一般的なスタイルです。

- 導入** どんな出来事について述べるのかを示す(いつ、どこで、だれが、何をしたのか)
- 内容** 出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べる
- 感想** 出来事に関する感想や学んだことなどを述べる

まず、次のパラグラフを読んでみましょう。

My First Day in Seattle

When I first went abroad, I was fourteen years old. I wanted to improve my English, so I decided to take part in an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. The journey took about fourteen hours. When we arrived at the school, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. Then, after a couple of hours, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me.

(128 words)

叙述文で大切なこと

叙述文では出来事を時間軸にそって書くことが求められますから、出来事の順番が前後しないようにしなければなりません。また、読む人の興味を引くような内容にすることも大切です。

形式を確認

叙述文に限らず、英語のパラグラフを書くときには形式に気を配る必要があります。以下のチェックポイントを毎回確認するようにしましょう。

- パラグラフの始めの字下げ(インデント)はできているか。パラグラフ内の文は改行せず連続して書かれているか。
- 大文字小文字や、コンマ・ピリオドなどのパンクチュエーション(句読法)は適切に使われているか。
- 内容を適切に表すタイトルがつけられているか。タイトルは中央に書かれているか。

叙述文で使う表現

叙述文では、時間の前後関係を表す次のような表現を使って、出来事の流がわかりやすくなるようにします。

first, second, after that, then, later, next
when, while, before, after, as soon as

また、いつのことを述べているのかを示す動詞の形には十分注意しましょう。過去のことは過去形、過去のある時点よりも前のことはwe were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for usのように過去完了形を使います。

では、次のステップに従って、**TASK**で示されたトピックについて叙述文を書いていきましょう。

STEP 1 何について書くか考える

まず、どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い浮かべます。

STEP 2 アウトライン(あらすじ)を書く

読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで、「導入」をつくります。ここではまだメモ程度でかまいません。

STEP 3 パラグラフを書く

アウトラインができたら文章にしていきます。書き終えたら読めます。

STEP 4 リバイズ(修正)する

パラグラフを書き終えたら、ペアの相手かグループのほかのチェックリストを使ってお互いに気づいたことを伝え合い、書き

ライティングチェックリスト

- 形式: タイトル、インデント、パンクチュエーションなど形式は整っているか
- 構成: 時間軸にそって出来事が書かれているか
- 内容: 出来事の内容が伝わるように書かれているか
- 文法: 時制(動詞の形)は適切か
- 表現: 時間の前後関係を示す表現が適切に使われているか

TASKに無理なく取り組める
ワークシートをご用意

まとまった文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい、ステップを踏んで**TASK**に取り組めるワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。▶ p.41

Logical Writing ワークシート

TASK
思い出に残っている高校入学前の出来事について、100～130語のパラグラフを書こう。

■出来事に関して、メモをまとめましょう。(日本語でも構いません)

When?	
Where?	
With whom?	
What did you do?	
How did you feel?	
Why is it important?	

■Writing (the first draft) 下書きを書いてみましょう。

()

Speech

スピーチをしてみよう!



スピーチとは

集まっている人の前で自分のことを話したり, あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく, 聞いている人の目を見ながら (アイコンタクト) 語りかけるようにすることが大切です。また, 声の大きさや話す速さ, メリハリにも気をつけて, 聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です (ただし, 不自然にならないように)。

TASK 1 思い出に残っている高校入学前の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

スピーチ原稿を書く

1分間のスピーチでは, 110~140語の文章を読むことができます。したがって, この語数を参考に原稿をつくるようにしましょう。

スピーチを始めるときは, まず「あいさつ」と「自己紹介」をします。クラスでのスピーチなら Hi, everyone. I'm Hana. のような短いものでよいでしょう。次に, スピーチのテーマや目的を I'd like to talk about / I'm going to talk about のように伝えてから, スピーチの内容へと入っていきます。

ここで, モデルとなるスピーチ原稿を見てみましょう。Logical Writing ①のモデルパラグラフをスピーチ原稿にしたものです。

Hi, friends. I'm Hana. Today, I would like to talk about my first day in Seattle. When I was fourteen years old, I went to the United States. I wanted to improve my English, so I decided to join an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. When we arrived at the school after a long journey, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. After the party, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me. (139 words)

スピーチで大切なこと

スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Hanaのスピーチの場合は, my first day in Seattle だけで「シアトルに行ったんだ」「何をしに行ったんだらう」「どんなことがあったんだらう」と聞く人は思うでしょう。また, Have any of you been abroad? のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。シアトルという都市について話すのであれば, Seattle is the birthplace of the worldwide coffee chain. のような内容が考えられます。

スピーチをしてみよう!

では, Logical Writing ①で作成した叙述文をスピーチ用の原稿にして, 次の点に留意してグループ内で発表しましょう。

- 原稿を棒読みするのではなく, みんなのほうを見ながら話します。
- みんなにははっきりと聞こえるように, 声の大きさや話す速さにも気をつけます。
- 英語の発音や抑揚も意識して, 必要なところにはポーズを入れて聞きやすくします。
- その時の気持ちが伝わるような話し方をします (楽しかった場面は楽しそうに)。
- 最後は Thank you. / Thank you for listening. でスピーチを終わらせます。
- 聞いている人は, スピーチが終わったら拍手をしましょう!

全員のスピーチが終わったら, **TASK 2** に挑戦してみましょう。

TASK 2 思い出に残っている高校入学後の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

何について話すか考える

STEP 1 まず, どの出来事について話すのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

アウトライン (あらすじ) を書く

STEP 2 聞く人の興味を引くことができそうな出来事を選んで, 「導入」→「内容」→「感想」のアウトラインをつくりまます。

スピーチ原稿を書く

STEP 3 アウトラインができたらスピーチ用の原稿にします。最初の「つかみ」で聞く人の興味を引くことができるようにします。書き終わったら読み直して修正します。

発表する (スピーチ)

STEP 4 スピーチ原稿ができたら, ペアまたはグループになって発表した留意点に気をつけます。

スピーチへのフィードバック

スピーチが終わったら拍手をし, 次のチェックリストを使って気づきます。また, 発表した内容に関して聞きたいことがあれば質問しましょう。

スピーチチェックリスト

- アイコンタクト・姿勢: みんなのほうを見て話していたか
- 声の大きさ・速さ・ポーズ: 聞きやすかったか
- 発音・抑揚: 棒読みになっていなかったか
- 構成: 「導入」→「内容」→「感想」の構成になっていたか
- 内容: 聞く人の興味を引くような内容でわかりやすかったか

話す **TASK** に無理なく取り組める
ワークシートをご用意

話す活動が苦手な生徒も取り組みやすいように, アイデアだしのヒントを盛り込んだワークシートを「指導用データ DVD-ROM」に収録。▶ p.41

Zone末活動用ワークシート

- スピーチで大切なこと
- スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Have any of you been abroad? のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。
1. 次のテーマで話すときに, どのような「つかみ」が考えられますか。それぞれ1-2文で書いてみましょう。
- ① 富士山に登ったことを話す場合
 - ② ギターを習い始めたことを話す場合

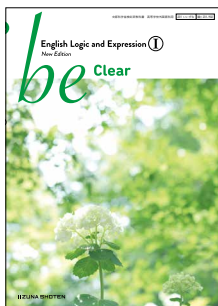
Logical Writingと
セットで
取り組める **TASK**

- Logical Writingで書いたパラグラフを, スピーチ原稿に改編。
▶ pp.18-19
- 「発表」の活動に集中できる構成。



Clear I から II へ

I → II へ、文法の基礎固めから活用と定着



Iで文法の基礎力を養成



IIで文法の活用と定着

	Clear I	Clear II
本文頁数	152頁	128頁
レッスン数	21レッスン	15レッスン
指示文	日本語	日本語

① 導入 Start-Up	Start-Up	● 2.5往復の会話	● 80-100語程度のモデル英文
② 定着 Interactions	文法項目・例文と解説	● 3項目 ● 6つの基本例文	● 3項目 ● 6-8つの基本例文
	CHECK	CHECK で文法の確認 → TASK の解答例に	
	TASK	● CHECK を参考にしながら文を書く。イラスト問題も豊富。	● CHECK で学んだ文法を使って、定着を図る。
③ 発展 Active Learning	Vocabulary	TASK や WRITE のヒントとなる	
	SHARE	● 話したいことをメモして、ペアやグループで話し合う。	● 問題の解決策や企画など、ペアやグループでアイデアを出し、話し合う。
	WRITE	● 1文から複数の文へ、つながりのある英文を書く。	● Step1-2で文章を組み立て、作文例を参考に50-80語の英文を書く。
	Logical Thinking	● 論理的に考え、判断し、表現するための基礎を紹介	—
	INTERVIEW	—	● トピックに関連した問いに自分の意見を述べる。

Clear II 教科書紙面紹介

LESSON 2 Start-Up (導入)

LESSON 2

Interacting with People

交流

TARGET 情報を伝える



Start-Up Harukaは海外の姉妹校に動画を送り、ふだん楽しんでいることを紹介しています。

Hi, everyone! I'm Haruka, a second-year student at Higashi High School. Today, I'm going to tell you what's popular with Japanese students. These days, we enjoy watching dance videos on our smartphones. It's fun to find cool videos and then learn how to do the dances. Making videos on our favorite apps is a lot of fun, too, and many of us like to post them on social media. I'll send you some of the links. I'm sure you'll like them. Thanks for watching.



Start-Up 英文が WRITE のヒント

80-100語程度のモデル英文

Listening-TASK 1 ①②③ 2 ①②③

- Try!
1. According to Haruka, what do Japanese students enjoy doing these days?
 2. Where do many students post their videos?

内容理解を確認

リスニングの選択問題や Try! の問題で、Start-Up 英文の内容確認。

Forms 名詞のはたらきをする句や節を使う

不定詞 (to+動詞の原形) や動名詞 (動詞の ing 形) は名詞句をつくることができ、名詞句は主語や補語、目的語として使うことができます。また、接続詞 that や疑問詞を使うと名詞節をつくることができます。「句」は〈主語+動詞〉を含まない語のまとまりで、「節」は〈主語+動詞〉を含むまとまりです。

Expressions 確信していると伝える

「きっと…だ」と伝えるときには、I'm sure (that) ... (0.9) を使います。「そう確信している」という話し手の主観を表し、I think (that) ... よりも強くそう思っていることを表します。

Speaking 音の連続を意識する

連続した単語の前の語が子音で終わり、後ろの語が母音で始まる場合、音がつながって発音されることがあります。たとえば、a lot of (0.7) /ə'lɔ:tɒv/, many of us (0.8) /'meniʊvəs/, some of (0.9) /sʌmɒv/ です。

Tips for Logical Communication テーマをはじめに伝える

発表などをするときには、本論に入る前に、これから何について話すのかを伝えます。Today, I'm going to tell you ... (0.2) や、My speech today is about ... のような表現を使って、まずテーマを伝え、それから本論を展開していくことで、聞き手に内容がより伝わりやすくなります。

表現を豊かにする語彙をとりあげて紹介

Pick-Up apps (0.7) は app の複数形で、app は application の略語です。日本語のようにアプリと言っても、英語では通じません。ほかにも laboratory → lab, information → info, mathematics → math のような略語があります。

特色① 構成・使い方

特色② II教科書紙面

特色③ 生徒用教材

文法の定着 Clear Iで学習した **A**: 不定詞, **B**: 動名詞を「名詞のはたらき」として再学習。
C: 名詞節もあわせて、英文のつくり方がわかる仕組み。

CHECK → TASK

の連動で文法を覚えながら使う。

さまざまな TASK

【やり取り】

【発表】【書く】を配置。授業で使用するものを選択できる。

例文や CHECK が TASK のヒントに

【話す(やり取り)】

イラストを見ながらロールプレイ

Interactions 日常生活の楽しみについて伝えよう

A すること・したいことを伝える

不定詞(名詞用法)

- I want **to go** to the museum this weekend.
- It's fun* **to visit** various places on a day trip.
- It's a good idea *for you* **to have** a welcome party for her.

F-GUIDE 名詞のはたらきをする不定詞(**to+動詞の原形**)は、主語、補語、目的語になる。①は目的語。②不定詞が主語になる場合はふつう形式主語itを使う。③(for...+不定詞)で不定詞の意味上の主語を示す。否定形は(not+不定詞)。

CHECK []の語句を適切な形にして、英文を完成させよう。

- I'm planning _____ with my friends next month. [go cycling]
- It's easy _____ concert tickets if you're in the fan club. [get]
- It's important for _____ positive. [we / stay]
- I promised _____ late for the appointment again. [not / be]

TASK 次の週末の予定についてペアで話そう。AはBに週末の予定を質問し、Bはイラストの人物になったつもりで答えよう。[]の語句も参考にして自由に会話を続け、終わったらA・Bの役を交代しよう。



- 例 A: What are you planning **to do** this weekend?
B: My grandma will turn seventy, so we want **to have** a party for her.
A: That's nice. Are you going to give her a present?

B すること・していることを伝える

動名詞

- Shooting** and **editing** videos is a lot of fun.
- I'm looking forward **to seeing** my friends at the reunion.

F-GUIDE 動名詞(動詞の**ing**形)は主語、補語、目的語、前置詞の目的語になる。④は主語、⑤は前置詞の目的語。動名詞の意味上の主語を示すときは、人称代名詞なら目的格(me/him/herなど)か所有格(my/his/herなど)を前に置く(I don't mind *her* coming with us.)。名詞ならそのままの形で動名詞の前に置く。

Vocabulary

- watch movies (映画を観る)
- upload videos (動画をアップする)
- edit videos (動画を編集する)
- play music (音楽を演奏する)
- go to a reunion (同窓会に行く)
- prefer **to do** (～するのを好む)
- sing karaoke (カラオケで歌う)
- show ... around ((人)を案内する)
- have fun (楽しむ)
- plan **to do** (～するつもりだ)
- science museum (科学博物館)
- one's daily routine (～の日課)
- look forward **to doing** (～することを楽しみにする)
- have [throw / hold] a party (パーティーを開く)
- play an online game (オンラインゲームをする)
- visit a tourist attraction (観光名所を訪れる)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A** 予定について質問したり答えたりすることができる。
- B** ふだん楽しんでいることについて話すことができる。
- C** 出かける計画について提案することができる。

CHECK []の語句を適切な形にして、英文を完成させよう。

- Her morning routine is _____ coffee and listening to music. [drink]
- The new K-pop group is very good at _____ in unison.
I always enjoy _____ their performances. [dance / watch]
- _____ is a lot of fun, but my parents don't like _____ so much time doing it. [play online games / I spend]

TASK ふだん自分が楽しんでいることについて話そう。最後はそれを人に勧める文で終わよう。

- 例 I enjoy **singing** karaoke. I especially like songs from anime movies. **Singing** in a loud voice relieves stress! How about **coming** to sing with me sometime?

相手を誘う

- How about **doing** ...?
- Would you like **to do** ...?
- Do you want **to join** us?
- Why don't we ...?

【話す(発表)】

CHECK や例の英文を参考に話す。

話すのに使える表現を提示

C 考えや気持ちを伝える

名詞節

- I think **that** you will love this new TV series.
- I don't mind **if** it's sunny or rainy on my trip.

F-GUIDE ⑥that節は名詞節(名詞のはたらきをする節)として使うことができる。that節を主語にするときは形式主語itを使う。⑦if/whether節や疑問詞節も名詞節になる(節内は主語+動詞)の語順。

CHECK ()内の語句を並べかえて、英文を完成させよう。

- It's clear (they / with / satisfied / that / were) the dinner.
- We don't (at / the guest speaker / who / know) the event will be.
- The question (he / agree / is / whether / will) to join us or not.

TASK Sayaは留学生のSofiaのホストファミリーになりました。Sofiaと週末に出かける場所を家族と相談しています。会話を聞いて空所に語句を入れ、最後の文は自由に考えて書こう。

[Hints: sushi restaurant / aquarium / nature / fireworks / amusement park]

- Mom: I (1) _____ should take Sofia to some temples and shrines.
Saya: Good idea! But I don't (2) _____ she likes traditional places.
Mom: All right, then (3) _____ you want to take her.
Saya: _____

(リスニング) 英語を聞き取りディクテーション。最後に自分で考えた1文を【書く】

Active Learning
Talking about Daily Life



SHARE やってみたいことについて話そう

① まわりで流行していることや、これからしてみたいことを挙げよう。

例 [Many students often [usually] / I want [hope] to]

② ペアまたはグループになって、①について話そう。

例 My friends and I sometimes go fishing on weekends. I'm still a beginner and not very good at it. I hope to catch a big fish someday.

③ ペアの相手またはグループのメンバーは話の内容について1つ質問をしよう。

例 Do you like eating fish, too? / Why do you like fishing?

WRITE 動画の台本を書こう

海外の姉妹校に向けて、自分たちのまわりで最近流行していることを紹介する動画を作ることにしました。以下の手順で動画の台本を書こう(50語程度)。

* We hope you'll try it. / I'm sure you'll like it. のような表現を入れて、相手に勧めよう。

1 文章の組み立てのヒント

Step 1 何について紹介するか書こう。

e.g. Today, we're going to tell you about

Step 2 具体的な情報を入れて書こう。

e.g. It became a big hit thanks to

例 Hello! Today, we're going to tell you about what students at our school are into. The song "XX" is really popular right now. It became a big hit thanks to social media videos that teach the dance moves. We hope you'll watch those videos, too. We're sure you'll love them. Thanks for watching! (53 words)

Self-Check

流行していることや、してみたいことについて話すことができた。 [] [] []
流行していることを紹介する動画の台本を書けた。 [] [] []

INTERVIEW

Q1: What sports do you enjoy playing with your friends?

Q2: What is your favorite kind of video on the internet? Why?

ペアやグループ
でアイデアを出
し合いブレイン
ストーミング。

SHARE で出た
意見を使って、
ヒントを参考に
まとめた文を
書く。

Start-Up の英文
もモデルになる。

関連したトピ
ックで自分のこ
とを答える質問。
英検二次試験
対策にも。

LESSON 12 Introducing Japan
日本の紹介

TARGET 考えを伝える



Start-Up 来日して2年目のMr. Millerが、日本について感じたことを述べています。

Many visitors from abroad say that Japan seems like a wonderful place to live. Most of my friends who visit Japan tell me that the punctual trains are amazing. They always arrive and leave on time, which makes traveling easy and stress-free. Another great point is Japan's safety. It is often said that Japan is one of the safest countries in the world. For example, if someone loses a wallet, it will most likely be returned. It seems that people here are honest and really want to help one another. I think that this way of thinking helps create a responsible and respectful society.



Listening-TASK 1 ①②③ 2 ①②③

Try! 1. What makes traveling in Japan easy and stress-free?
2. What would happen if you dropped your wallet in Japan?

Start-Up の英文で、
文法の使われかた
を自然に理解。

Forms that節を使って話の内容や考えを伝える

say that ... (ℓ.1) や tell me that ... (ℓ.3) のように、発言の内容を伝えるときにthat節を使います。また、that節はIt is often said that ... (ℓ.6), It seems that ... (ℓ.9), I think that ... (ℓ.10) のように、話の内容や考えを伝えるときにも使います。これらのthatは省略することがあります。

Expressions 可能性に言及する

it will most likely be returned (ℓ.9) は「それはたぶん戻ってくるだろう」という意味です。このlikelyは副詞ですが、be likely to do ... や it is likely that ... のように形容詞として使うこともできます。

Speaking /ɔ:/ と /ou/ の発音に注意する

abroad (ℓ.1) の発音は長母音 /ɔ:/ の /əbrɔ:d/ なので、二重母音の /ou/ にしないようにしましょう。road (道路) の発音は /ou/ で /rɔ:ud/ となります。違う音なので注意が必要です。

Tips for Logical Communication 自分の考えを伝える

自分の考えを伝える表現を使い分けましょう。I think that ... は思っていること、I believe that ... は強く信じていることを伝えます。I suppose ... や I guess ... は確信度がやや低い場合に使います。It seems[appears] that ... は「…であるようだ」を表します。

Pick-Up stress-free (ℓ.5) のように -free を続けると「～がない」という意味を表します。pain-free や risk-free のような語もあります。また、I am free from stress. のような使い方、「～がない」ことを表すこともできます。

Clear II の特長

- Iで学習していない文法項目も網羅。(「that 節」「話法」など)
- 文の書き方がわかる文法学習で定着を実感。

Clear II の特長

柔軟な授業設計に対応。TASK【やり取り】【発表】【書く】活動をご用意。授業で使用できるものを選択できます。

- 例)
- CHECKのみ使って文法メインに。
 - ABCのCHECK → 3つのTASK から1つ選んで行う。など

Interactions 日本の文化を伝えよう

A 提案や要求, 重要なことを伝える

that 節内の動詞

- ① We **suggested that** Tim **try** sukiyaki during his stay in Japan.
- ② It's **important that** we **preserve** our culture.

F-GUIDE ①提案や要求を表す suggest, recommend, insist のような動詞に続く that 節内では、動詞の原形か (should+動詞の原形) を使う。②It's important that のように重要なことや必要なことを表す場合も同様。

CHECK [] から選んだ語を必要に応じて適切な形に変え、英文を完成させよう。

[visit / spend / recommend / pass]

1. It's important that we _____ down our traditions to the next generation.
2. Her parents insisted that she _____ the New Year's holiday with them.
3. I'll _____ that Mike _____ hot springs while he's in Japan.



TASK 日本に来たばかりの Meg に、日本のもので何を勧めたらよいか、イラストも参考にして提案しよう。



例) I **suggest that** Meg **go** sightseeing in Kyoto and **rent** a kimono. There are many temples and shrines there. It would be fun to walk around wearing a kimono.

勧める

- I suggest that
- I recommend
- It'll be fun to do
- I'm sure you'll like it.
- Have you ever tried ...?

B 思うことや感じられることを伝える

seem / think ・時制の一致

- ③ It **seemed** that Harry **was** happy with the Japanese inn.
- ④ I **thought** Lisa **had eaten** sushi before, but it was her first time.

F-GUIDE ③It **seems** [appears] (that) は、そう感じられることを伝えることができる。④I **think** [believe] (that) は、そう思うことを伝えることができる。これらの動詞が過去形の場合、that 節内の動詞はその過去の時点のことなら過去形に、それより前の時点のことなら過去完了形にする。

Vocabulary

- preserve culture (文化を保存する)
- recommend (勧める)
- attractive feature (魅力的な特徴)
- wear a kimono (着物を着る)
- skip breakfast (朝食を抜く)
- martial arts (武道)
- visit hot springs (温泉を訪れる)
- punctual (時間どおりの)
- foot bath (足湯)
- suggest (提案する)
- punctually (時間どおりに)
- public bath (銭湯, 公衆浴場)
- pass down ... to ((次の世代)に...を伝える)
- pop [popular] culture (ポップカルチャー)
- Japanese folktale (日本の民話)
- traditional event (伝統的な行事)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 海外の人に日本のものを勧めることができる。
- B どちらかを選択した理由を話すことができる。
- C 会話の内容をふまえて考えを伝えることができる。

CHECK () 内の語句を並べかえて、英文を完成させよう。

1. It (prefer / that / many students / appears) meat to fish.
2. I (think / curry and rice / don't / that / is) a Japanese dish.
3. She was in a bad mood, and it (hadn't / seemed / she / that / had) breakfast.



TASK 旅行先のホテルの朝食で、A「和食」・B「洋食」があったらどちらを選びますか。理由も含めてペアで話そう。また、右の学生を対象としたアンケート結果から感じられることや思ったことを話そう。



What do you eat for breakfast?

rice / rice balls	56%
bread	52%
yogurt	17%
cereal	11%
fruit	10%
don't eat breakfast	22%

- 例) • I **think** that a Western-style breakfast is better than a Japanese-style breakfast because
- It **seems** that many students skip breakfast, but

C 話を伝える

話法

- ⑤ Jack **said to me**, "I **want** to go to the anime fair with **you**."
- ⑥ Jack **told me that** **he wanted** to go to the anime fair with **me**.

F-GUIDE ほかの人の発言を伝えるには、⑤発言内容をそのまま引用符 ("...") で囲んで伝える方法 (直接話法) と、⑥ (tell+人+(that) ...) や (say (that) ...) の形で、発言を言い直して伝える方法 (間接話法) がある。間接話法の that 節の動詞、代名詞、時や場所は、伝達者の視点からとらえたものに変える。

CHECK 2つの文が同じ意味の発言になるように、() に適切な語を入れよう。

1. Yuko said that she had gone to the concert with her sister the day before.
= Yuko said, "I () to the concert with () sister ()."
2. Jin said to Beth, "I'll lend you my comic book tomorrow."
= Jin told Beth that () would lend () his comic book the () day.



TASK Jessica と Yuji の会話を聞いて内容をメモしよう。

② 2人の話をふまえて、自分の意見もペアで話そう。

例) A: Jessica told _____.

B: Yuji told _____.



リスニング問題の音声は、QRコードからも再生可能 (指導資料セット、指導用音声CDにも収録)。

Clear II の特長

活動の目的・場面・状況を設定。クラスでアイデアを出して話し合い、発表し、英文を書く。

日本の伝統的な文化、または新しいポップカルチャーを紹介する活動。
SHARE または WRITE のどちらかを選択して行うのも可。

Active Learning
Introducing Japanese Culture

SHARE 日本の文化を紹介しよう

① あなたのクラスは近所のインターナショナルスクールとの交流イベントに参加することになりました。イラストも参考に、日本らしいものや体験を提供するアイデアについて、グループで話し合おう。



*ブレインストーミングで、できるだけ多くのアイデアを出し合おう。

② アイデアのなかから各自がよいと思うものを選んで、ひとりずつ発表しよう。選んだ理由も含めよう。

例 I suggest that we present picture books of Japanese folktales. It would be a great way to share some Japanese culture with international students. Also,

WRITE 日本のポップカルチャーを紹介しよう

日本の音楽やアニメ、ゲームなどについて展示をすることになりました。自分の好きなものを選んで、原稿を書いてみよう(70語程度)。*EXTENSION 2(p.76)も参考にしよう。

1 文章の組み立てのヒント

Step 1 紹介したいものについての概要を書こう。

e.g. Japanese anime is popular worldwide.

Step 2 自分がそれについて思うことや、勧めたい点などを書こう。

e.g. One of its most attractive features is the beautiful artwork.

例 Japanese anime is popular worldwide. It includes many genres, such as fantasy, action, and sports. One of its most attractive features is the beautiful artwork. I recommend people watch some anime from well-known studios, like Kyoto Animation. Some Japanese anime focus on important social issues, like the environment, war, or human rights. I think the deep storylines are another reason why anime is loved—not just by children but by people of all ages.

(74 words)

・genre: ジャンル

Self-Check

日本の文化を紹介する企画について話すことができた。③ ② ①
日本のポップカルチャーを紹介する文章を書けた。③ ② ①

INTERVIEW

Q1: What part of Japanese culture do you want to introduce to international visitors?

Q2: What do you like most about Japan?

WRITE で扱うトピックに関連して、興味を引く資料を提供。英文を書く際の考えるヒント、語彙の補充などができる。

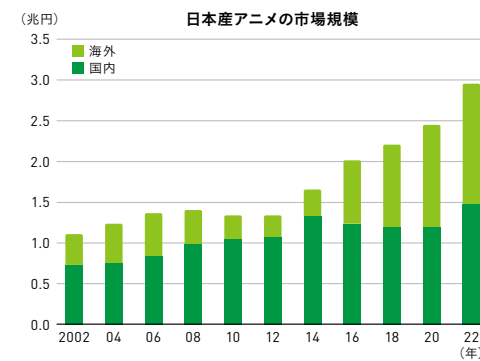
EXTENSION 2

日本のポップカルチャーを紹介しよう

80ページ参照資料

海外で人気のアニメやマンガ

日本のアニメやマンガはエンターテインメントとして娯楽の要素だけでなく、環境問題や戦争、ジェンダー平等といった重要な社会問題を扱うものも多く、その深いストーリー性も魅力のひとつです。また、繊細なグラフィックによる背景描写や心情描写、心を動かす音楽が、多くのファンをひきつけています。ジャンルもSF、ファンタジー、スポーツ、アクションなど多様であることから、子どものみならず世界中の幅広い年齢層に支持されています。映画やゲームなどさまざまなメディアへの展開により市場規模は拡大傾向にあり、近年の動画配信サービスの普及に伴って世界でもますます人気が高まりつつあります。



一般社団法人日本動画協会(2024)「アニメ産業レポート2023」を基に作成

Vocabulary ・social issues ・unique storyline ・emotional ・a wide range of genres ・appeal to everyone
・voice actor ・anime songs ・character design ・visual effects ・streaming service ・popular worldwide

世界が注目する「ゲーム大国」日本

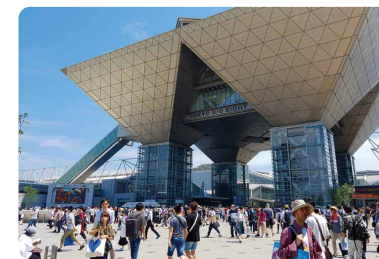
「ゲーム大国」である日本のゲーム文化は世界のポップカルチャーに大きな影響を与えてきました。1980年代以降多くの家庭用ゲーム機が開発され、誕生した人気のキャラクターは世界を魅了し続けています。近年はソーシャルゲームをはじめとするモバイルゲームが盛んですが、没入型のVRゲームや、バーチャルの世界を現実世界と融合させたARゲームなども続々と生み出されています。また、ゲームを使った対戦で競い合うeスポーツや、ゲーム実況といった新しい文化も注目を集めています。



Vocabulary ・game console ・popular characters ・mobile games ・VR headsets ・mix the real and virtual worlds
・esports ・interactive gameplay ・thrilling ・game streaming ・enjoyed by all ages

広がるオタク文化

オタクとは特定の分野を深く愛好する人を指し、現在ではその対象はアニメやゲームにとどまらず、オタクと自称する人も増加しています。アニメや映画などの好きな作品に縁のある土地を訪れる「聖地巡礼」や、観客が声を出しながら作品を鑑賞する応援上映など、特定の人物やキャラクターを応援する「推し活」はSNSなどを通じて広がりを見せています。日本のみならず海外でもコスプレイベントの開催やアニメ関連商品の販売が盛んに行われています。



Vocabulary ・geek ・superfan ・subculture ・favorite member [character] ・fan pilgrimage
・cheering screening ・fan activities ・fan art ・cosplay ・fan community ・merchandise

Speech



スピーチをしてみよう!

スピーチは、聴衆の前で自分のことを伝えたり、あるテーマについて自分の考えを述べたりする活動です。実際にスピーチをするときは原稿を見ずに、聴衆のほうを向いて、声の大きさや抑揚、話す速さなどにも注意しながら話しましょう。

1. スピーチ原稿の例

Introduction (導入), **Body** (本論), **Conclusion** (結論) の3パートから構成されています。Bodyでは、理由①、理由②の2つの理由を述べ、具体例や根拠も挙げていることに注目しましょう。これにより、意見に客観性と説得力をもたせることができます。

Introduction あいさつ、トピックの紹介

Hello, everyone.

Today, I'd like to talk about トピック the importance of communicating face to face.

Body 自分の考え・思いと、それをサポートする情報

Nowadays, many people communicate online using social media. **However**, I strongly believe that we should talk face to face more. There are two reasons for

this. **First**, we can understand the other person's feelings better by communicating

directly. **For example**, the person's facial expressions, tone of voice, and body

language can give us information to understand the person. **Next**, we can avoid misunderstandings by talking directly. Our messages on social media are often

misunderstood by others, **but** if we are talking face to face, we can make sure our message is understood correctly or we can correct a statement when necessary.

Conclusion まとめ

Therefore, I think face-to-face communication is important. Thank you very much for listening.

2. スピーチ原稿を書こう

上の例を参考にして、1分程度のスピーチをしましょう。原稿をつくる際は、次のフォーマットを利用してください。

トピック例 ・高校生はボランティア活動をすべきか ・好きな町の紹介

Introduction

最初のあいさつとトピックの紹介 _____

Body

理由① _____

理由② _____

Conclusion

まとめと終わりのあいさつ _____

スピーチ原稿に使える表現

Introduction

・ I'd like to talk about ・ Let me tell you about

Body (論理展開を示す表現)

列挙 ・ first(ly) ・ second(ly) ・ third(ly) ・ then ・ next ・ finally / lastly

例示 ・ for example [instance] ・ such as ...

理由 ・ because ・ The reason is that ・ That's because

逆接 ・ but / however ・ though / although

対比 ・ while ・ on the other hand ・ in contrast

追加 ・ moreover ・ in addition ・ furthermore

Conclusion

・ therefore ・ in conclusion ・ as a result

・ Thank you for listening. ・ Thank you for your attention.

3. 実際にスピーチをしよう

原稿を見なくても話せるように、以下の点に注意しながら何度も繰り返し練習しましょう。

①話し方 次の点に気を配ろう。

- 適切な声の大きさで 効果的にポーズ(間)を入れて
- 適切なスピードで、早口にならないように 話がとぎれないように
- 強調したい部分は強く

②アイコンタクト 聴衆の目を見ながら語りかけるように話そう。

③ボディランゲージ 身振り手振りや顔の表情で効果的に伝えよう。

「論理展開を示す表現」など、原稿を書くための表現を提示。

Extra Activities ①

話の展開を考えて叙述文を書こう!



英語の有名なジョーク (joke) のひとつに、次のような会話があります。

Customer: Hey, server. Your thumb is in my soup!

Server: That's all right, ma'am. The soup is not hot.

・thumb: 親指 ・server: 給仕する人



クスツと笑えるようなジョークは場を和ませてくれます。そして、『赤毛のアン』の作者 L. M. Montgomery が "Life is worth living as long as there's a laugh in it." と言ったように、「笑い」は私たちの生活には欠かせないものになっています。

ジョークには、私たちの思考を柔軟にする効果もあります。何がおもしろいのかを理解したり、何かおもしろいことを考えたりするときには、さまざまな角度から物事をとらえようとする柔軟な思考が必要だからです。

まず、おもしろいオチを考えることで「頭の体操」をして、話を組み立てる思考力をアップさせましょう。

TASK 1 次のスクリプトを読んで、最後のセリフを考えなさい。

A: Hey, you're good with first aid. I need your help.

B: OK, what's the problem?

A: When I touch my forehead with my finger, it really hurts. When I push on my jaw, it's also painful. When I press on my stomach, I almost cry. What can it be?

B: I don't know. You'd better go see the doctor right away.

A: OK, I'll be right back.

(one hour later)

B: So, what did the doctor say? What's wrong with you?

A: _____

体の異変を訴える A に対し、B は医師に診てもらおうように言っています。A は 1 時間後に戻ってきます。最後のセリフを「なるほど」と思えるようなオチにするには、どのような内容にすればよいでしょうか。ペアグループになってアイデアを出し合ってみましょう。

TASK 2 英語で示されている状況を読んで、店主のセリフを考えなさい。

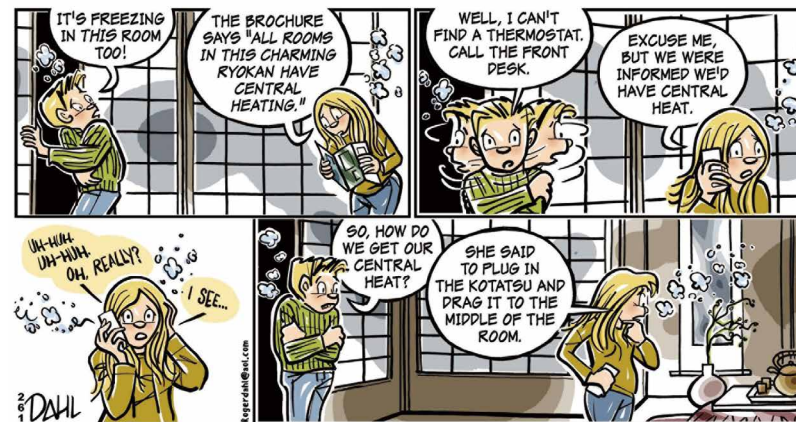
A customer is at the counter of a skydiving gear store and asks for their best parachute.

スカイダイビング用品を取り扱う店で、客が店主に質問しています。店主のセリフをどのようなものにすれば「なるほど」と思えるオチになるでしょうか。ペアグループになってアイデアを出し合ってみましょう。



次は、話をつくる練習です。自分が体験した出来事などについて順を追って述べる叙述文 (narrative paragraph) を書いてみましょう。

TASK 3 次の漫画 (cartoon) が表す状況を把握し、自分が漫画の男女のどちらかになって、この出来事を伝える文章を 100~130 語で書きなさい。



Roger Dahl. Japan's traditional central heating options. The Japan Times (Feb. 26, 2022).

これは、The Japan Times に掲載された "Japan's traditional central heating options" というタイトルの漫画です (冬休みに温泉地にやって来た夫婦という設定)。日本の旅館の traditional central heating options とは何なのでしょう。ペアグループでこの漫画が表している内容について話し合ってみましょう。

話の内容が理解できたら、次のステップに従ってこの出来事を伝える文章を書いていきます。叙述文では出来事を時間軸にそって書く必要があります。いつのことなのかを表す表現を使って、出来事の展開がわかりやすくなるようにしましょう。

STEP 1 何について書くか考える

旅館での出来事を中心に、旅館に着く前ことや旅館でのこと、翌日のことなど、書くことを自由に考えましょう。温泉地の情報を調べて想像をふくらませるのもよいでしょう。

STEP 2 アウトラインを書く

「①導入」→「②内容」→「③まとめ」という流れでアウトラインをつくりましょう。ここではメモ程度でかまいません。①ではどんな出来事について述べるのかを示し、②では出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べます。③のまとめでは出来事に関する感想などを述べます。

STEP 3 文章 (パラグラフ) を書く

アウトラインにそって文章にしていけます。書き終わったら読み直して修正を加えます。

STEP 3 Last winter vacation, my husband[wife] and I took a trip to a hot spring resort. After visiting several tourist spots, we arrived at a Japanese traditional ryokan that we had booked in advance. ...

STEP 4 クラスメイトの意見を聞いてリバイズ (修正) する

文章を書き終わったらクラスメイトに読んでもらい、気づいた点を指摘してもらいましょう。必要に応じて書き直したら完成です。